

令和8年度学校経営ビジョン

奄美市立朝日中学校

- 教育基本法
- 学校教育法
- 学校教育法施行規則
- 学習指導要領
- 県・地区・市の重点施策

(学校経営の基底)

公教育の理念に立ち、保護者や地域の願いを受け止め、学校・地域の歴史と伝統を創造的に継承し、生涯学習の視点を踏まえた特色ある経営を推進する。また、人権尊重を基調として生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばすとともに、自己実現に向けた問題解決思考と豊かな情操を兼ね備えた心身ともにたくましい人間（朝日中の生徒）を育成する。

学校教育目標

自分の生き方を求め 今を大切にする朝日中生を育成する

【生徒像】

- ◎ 気持ちのよいあいさつと返事ができる生徒
- ◎ 目標をもって意欲的に学習する生徒
- ◎ 自分の長所を発見し、伸ばすことができる生徒

校訓

< 琢 磨 >
規 創 自
☆ ☆
律 造 主

【教師像】

- ◎ 生徒の能力や個性を引き出すことに努める教師
- ◎ 自己研鑽に励み、指導力の向上に努める教師
- ◎ 組織体での教育とお互いの理解・尊重に努める教師

【学校像】

- ◎ 「明日も行きたい」 生徒が喜んで登校し、満足して下校する学校
- ◎ 「明日も学びたい」 生徒が自分の有用感とやればできることを実感できる学校
- ◎ 「明日もみんなで」 心を一つにして教育活動を展開する学校

本年度の重点実践事項と推進プラン

授業充実の3ポイントを基盤とする学力向上（主体は学習者）

「わかった」「できた」であふれる終末とするための工夫

- 興味・関心を引き出す学習課題
 - ・ 学習を深める場（ペア・グループ等）における思考の練り上げの充実
 - ・ 補充・深化・発展学習の効果的実践
- 書くことの指導と個別指導の充実
 - ・ ICT活用と書く時間の選別
 - ・ 課題解決に向けた場の設定
- 家庭学習の習慣化
 - ・ 主体的に家庭学習に取り組ませるための学習課題の工夫
 - ・ 日常的な読書の推進（子どもと一緒に読書の日の有効活用）
- 保護者とともに学ぶメディアリテラシー教育の充実
 - ・ 実態調査による現状把握
 - ・ 使用時間に関する家庭のルール

思いやりとたくましさのある生徒の育成（語る・寄り添う）

いじめ・不登校0、問題行動早期発見、即対応する体制の充実

- 一人一人が存在感や自己有用感を感じる学級経営
 - ・ いじめや差別を許さない指導
 - ・ 不登校生徒への組織的な関わり
 - ・ 発達支持的生徒指導の理解
 - ・ 計画的な相談活動と全体の情報共有による「抱え込み」の根絶
- キャリア教育の視点に立った生き方指導と進路指導
 - ・ 生徒を生かす特別活動
 - ・ 生徒の手による学校生活向上に向けた生徒会活動の推進
- 全教育活動での心の教育の実践
 - ・ 生徒の内面に根ざす道徳的実践力の育成（共通理解・共通実践）
 - ・ 心や体を鍛える部活動の充実

時間外在校等時間削減のための業務の見直し（業務改善I try）

mustでない業務からの脱却を基本とする意識改革

- 令和11年度までに月平均45時間以下を100%に（教特法との関連）
 - ・ 月平均30時間程度の達成
 - ・ ICTの最大限活用による授業改善と業務効率化の実現
 - ・ 紙媒体による通信や調査集計等の廃止（活用術の小研修会実施）
- 人事評価（業績評価）における「業務改善I try」の設定
 - ・ 週1回の定時退庁日の設定
 - ・ ICT活用術についての課題設定
- 従来までの学習評価の見直し
 - ・ 通知表の配布を年2回に
 - ・ 評価方法と所見についての研修
- コミュニティスクールの活用
 - ・ 令和9年度からの開始準備

<学校運営協議会「ふるさと奄美を学ぶ、ふるさと奄美で学ぶ」の主な活動>

- 地域の一員としての自覚の高揚と自主的な活動による具体的実践（クリーン登校、市民清掃、地域生徒会）
- 伝統文化の継承（八月踊り、島唄・シマグチの継承、日本復帰記念日の活動、世界自然遺産等の探求学習）
- 学校支援ボランティアの活用（学習支援、不登校支援、部活動地域展開支援、福祉体験活動支援、その他）